

えにしのサロン第 21 回

《シベリアのバイオリン》

2023/6/11(日) 13:30 開場 14:00 開演

光が丘美術館 東京都練馬区田柄 5-27-25

都営大江戸線光が丘駅 A1 出口より徒歩 3 分



生きる希望とは？生きる力とは？
過酷な状況のもと、極寒の收容所で日本人捕虜たちが楽団をつくった

父の実体験に基づいた珠玉の物語
著者の窪田由佳子さんをお招きして
お話と音楽の「一人がみんなと」の懇親の集いを開きます

ゲスト 窪田由佳子（お話とピアノ演奏）
演奏 河村典子（ヴァイオリン）、白土文雄（コントラバス）

物語にちなんだ手作りのスイーツ 大須賀麻由美

演奏曲目 ハイドン ピアノトリオ「ジプシー」
前田智子 ステラ・オブ・あかね M エンジェル
グリンカ ロシアの歌
他

会費 ■ 3500 円（お菓子・ドリンク付き）
お問合せ・お申込み ■ T 090-6528-5516（5 月 22 日以降 河村）
F 050-3488-0771 または officen_info@yahoo.co.jp まで
お申し込みは 6 月 4 日までにお問い合わせください

Salon d'Enishi 2023 《シベリアのバイオリン》

2023年6月11日（日）14時 光が丘美術館

会費 3500円 お菓子とドリンク付き

窪田由佳子（お話・ピアノ）静岡市生まれ。武蔵野音楽大学ピアノ専攻卒業。1981—82年、ドイツ・ケルンに留学。1983—1987、バレエ・コレペティとして六本木スタジオ一番街等に所属。1992年—2017年、常葉大学非常勤講師として勤務。静岡市在住。静岡県文学連盟に所属。現在、OZAWA MUSICにてピアノ指導の傍ら演奏活動、また著書「シベリアのバイオリン」の講演活動を活発に行っている。



河村典子（オフィスN主宰・ヴァイオリン）1979年よりスイス在住、日本・スイスを拠点に演奏・指導・プロデュース活動。吉田真譽著「般若心経現代語訳」のドイツ語訳なども行っている。2005年秋、バッハの無伴奏ソロのプログラム「ヴァイオリンひとり」で行脚を始め、2012年元旦にスイス・トローゲンの教会にて100回目を達成。2010年より静岡県富士宮市を日本での拠点としている。

白土文雄（コントラバス）1979年より12年間チューリッヒ・トーンハレオーケストラの首席コントラバス奏者を務めた後フリーとなり、室内楽・ソロ活動を行う。国内外の多数の作曲家が白土文雄に作品を献呈、自身も数多くのコントラバスを含めた編曲を行い、希少なコントラバスのレパートリー拡充へ多大な貢献をしている。ジュネーヴ国際音楽コンクールをはじめとして審査員を歴任。

えにしサロン

2011年3月の東日本大震災および福島原発事故の後、「ヴァイオリンを弾いている場合ではないのではないか」との思いを抱えつつ活動を続ける中で、舞台と客席の境界線をなくして弾き手と聴き手をより近く、音楽とお話で「一人がみんなと」を楽しむ集いを提供したい、と始めたのが「えにしサロン」です。コロナ禍のため三年間、開催の中止を余儀なくされましたが、再び日常の中の非日常の時間を皆様と過ごせますことを心より楽しみにお待ちしております。

主催 オフィスN

参加お申し込み（6月4日までお願いいたします）

officen_info@yahoo.co.jp / Fax 050-3488-0771 / Tel 090-6528-5516（5月22日以降 河村）

お名前 _____

ご住所 〒 _____

人数 _____ 名

E-mail _____

お電話 _____

通信欄 _____
